

第Ⅴ期中期計画  
(令和4年—令和8年)

学校法人 国際学院 第V期中期計画

令和4年4月1日

				重要業績評価指標 (KPI)	
項目		中期計画	行動目標	項目	指標
1	教育の質保証	(1) 教学マネジメント体制の確立と教育の質保証に向けた仕組みづくり ① デイプロマ・ポリシーに掲げる学修成果の可視化と教育の質的転換 ② 単位の実質化の着実な実施 ③ エンロールマネジメントによる学修支援	① 教学マネジメントの確立に向けたシラバス作成 ② オンライン授業等、新たな授業形態の確立と推進	① シラバスの改善 ・ 単位の実質化 ・ 学修成果の可視化	・ シラバスへの適切な表記 100%(非常勤講師含む)
			③ IR 情報を活用した教育課程の適切性の検証と授業改善 ④ 学生への適切な学修指導と単位の実質化 ・ 成績不振者に愛する個別学修指導の徹底 ・ 学生の成績状況に合わせた CAP 制度の設定と運用	② IR 情報 ・ 学修実態 ・ 授業評価 ・ 学修成果 ③ 資格取得等 ・ 栄養士実力認定試験 令和3年度実施結果 認定 A : 全国平均 50.2%	・ 学修時間 ・ 授業アンケート ・ 資格取得等実績 * 栄養士実力認定試験 認定 A 60%以上 * フードスペシャリスト資格認定 試験合格率 100% * 幼稚園教諭2種免許 取得 100% 保育士資格取得 100% ・ 就職・進路決定率 ・ 卒業率
			⑤ 多様な学生や多様な学習ニーズにこたえる多様な教育の展開 ⑥ 大学教育活動への学生の参画促進	③ 学生アンケート ・ 授業アンケート ・ 学生満足度調査 ・ 卒業生アンケート ・ 大学と学生との意見交換会	・ アンケート回収率 100% ・ 全国調査との比較-全ての項目で全国以上 ・ 大学と学生との意見交換会の開催 年1回以上
		(2) 主体的・対話的で深い学びのための教育環境の改善 ① 授業・教育環境の改善 ② ポートフォリオの活用 ③ 学修成果の可視化 ④ 図書館の利用促進 ・ 図書館機能の充実 ・ 施設利用の促進 ・ ラーニング・コモンズ整備のための環境整備	① カリキュラムの見直し ② ポートフォリオを用いた学びの振り返り ③ 多面的・総合的評価の構築 ④ e ポートフォリオ導入の検討 ⑤ デイプロマ・サプリメントによる学修成果の可視化 ④ ラーニング・コモンズ整備に向けた課題整理と対応 ・ 机や椅子、OA等の環境整備 ・ 学生図書委員会との連携・学修支援スタッフ	① カリキュラムの見直し ・ アクティブ・ラーニング型科目の開講 ・ 双方向授業 ・ 自主学修支援 ② 学修情報に関するシラバスへの完全記載 ③ デイプロマ・サプリメントの交付と改善 ④ 図書館利用の可視化	・ 開講割合 50%以上 ・ ICT 機器の利用 ・ 自主学習支援に係る実態把握記録 ・ 学修成果の企業等との意見交換会 年1回以上 ・ 図書館利用者数 ・ 貸出数 ・ 卒業研究関連利用者数 ・ 著作権法研修会

				重要業績評価指標 (KPI)	
項目	中期計画	行動目標	項目	指標	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全学的な著作権法遵守に関する情報発信</li> </ul>	の配置	⑤著作権法管理－研修会参加と学内へのフィードバック	参加実績 学内研修会開催実績	
	(3)教職員の資質向上に向けたFD・SDの強化と教職協働の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育・授業改善の推進</li> <li>・ICTを活用した教育の質向上</li> <li>・法令・制度に関する理解促進</li> </ul>	①ティーチング・ポートフォリオの活用による授業改善 ②スタッフ・ポートフォリオの活用による教職協働の推進	①ティーチング・ポートフォリオ <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報公開</li> <li>・面談活用</li> </ul> ②スタッフ・ポートフォリオ <ul style="list-style-type: none"> <li>・SD活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員面談割合 100%</li> <li>・授業改善割合 100%</li> <li>・FD参加者数※ 100%</li> <li>・SD参加者数※ 100%</li> </ul> ※1回以上参加した割合	
	(4)多様な学生や多様な学修ニーズに応えるための多様な教育の展開	①リカレント教育と連携した社会人入学生の受入推進 ②留学生受け入れのための体制整備	①社会人受入	・社会人受入 20人	
2	学生支援の充実	(1)入学前から卒業後に至るまでの一貫した学生支援 ①学生の成長を促す学生生活支援 ②多様な学生サポート体制の強化 <ul style="list-style-type: none"> <li>・スチューデント・アシスタント(SA)制度・ピア・サポート(PS)制度等の創設</li> <li>・TA制度の積極的活用</li> </ul>	①学生相談体制の整備・拡充 ②スチューデント・アシスタント(SA)制度、ピア・サポート(PS)制度、TA制度の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生満足度調査による学生満足度率</li> <li>・就職率1 就職者/卒業者・進学者</li> <li>・就職率2 就職者/就職希望者</li> <li>・退学率</li> <li>・成績不振者数</li> <li>・SA、PS、TA参加率</li> </ul>	
	(2)キャリア支援の強化 ①就職先企業等との接点強化 ②資格取得支援体制強化	①学内企業等セミナーの開催 ②資格取得支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・公務員対策講座の開設</li> </ul>	①企業等セミナー ②公務員対策講座	・公務員対策講座の実施	
	(3)教職協働によるきめ細かな学生支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業科目における取組推進</li> <li>・学生の学びを深めるための取組</li> </ul>	①キャリア教育等、授業科目における協働 ②社会人学生への総合的支援 ③TA、SA、支援学生スタッフ育成	①授業科目における協働実績 ②社会人学生支援	・社会人学生対象カウンセリング実績	

				重要業績評価指標 (KPI)	
項目	中期計画	行動目標	項目	指標	
	(4)障がいのある学生への支援体制の構築	①障がいのある学生の受入のための体制整備 ・積極的受入のための組織体制整備 ・合理的配慮のための基本方針策定 ・相談支援体制の確立 *相談支援組織 *相談支援窓口 ・教職員の意識改革のための体系的FD・SDの実施	①障がいのある学生の受入 ・相談支援窓口の組織化・創設	・障がいのある学生からの相談件数, 受入件数	
	(5)学生の成長を促す積極的な学生生活支援 ①学生支援に繋がる奨学制度の見直し ②新修学支援制度利用促進のための学生支援の充実 ③修学支援制度利活用の促進 ④後援会との連携	①新修学支援制度利用者の利用継続のための支援 ②きめ細かな後援会諸活動への支援	①新修学支援制度利用学生の利用継続 ②後援会からの学生支援活動 ・後援会支援ランチ	・新修学支援制度利用学生の継続率 100% ・学生食堂利用者数 ・学生食堂利用アンケート	
	(6)卒業生支援 ①卒後支援の充実 ②同窓会機能の強化	①卒業生対象研修会の実施 ②同窓会支援による卒業生アンケートの実施	①卒業生対象講演会開催	・講演会参加者数	
3 研究活動の活性化	(1) 研究活動の促進に向けた研究環境整備	①萌芽的研究費創設の検討(個人研究費) ②外部研究資金の獲得	①研究に係る補助金の獲得 ②外部資金の獲得	・採択件数 ・外部資金獲得件数・金額	
	(2) 研究成果の社会への発信強化	①研究成果の可視化の促進 ・研究紀要への投稿 ・論文、著書の発刊、書籍への執筆、学会（国内外）等での発表	①研究紀要への投稿 ②論文、著書の発刊、書籍への執筆、学会（国内外）等発表	・投稿件数 ・発表件数	
	(3) 科学研究費補助金(外部研究資金)等の申請・採択件数の向上	①科学研究費補助金申請 ②受託研究・共同研究受入	①科学研究費補助金申請 ④受託研究・共同研究受入	・申請件数 ・新規採択率 ・受入件数	

	項目	中期計画	行動目標	重要業績評価指標 (KPI)	
				項目	指標
4	高大接続の推進	(1)学生の円滑な大学教育への導入と学びの姿勢の定着 ①入学前教育の充実・強化	①入学前教育の点検・見直し ②入学予定者への課題提示 (社会人入試入学者、留学生等を除く) ③基礎学力調査の実施 *基礎学力把握のための併設校と連携した独自検査実施 ④初年次教育の検証・推進 ⑤教養科目の検証および充実 ⑥高等学校と連携した入学前教育 ・高等学校指導の下に立てる入学までの学修計画とその状況報告	・入学予定者への課題提示 ・高等学校から大学への学修計画の提示	・課題提示率:対象者 100% ・入学前教育参加率
		(2)高等学校教育と大学教育との連携強化	①大学における学修を高校生が経験する機会の提供 ②高等学校との定期的な意見交換 ③高等学校との合同研修	①高等学校との定期的な意見交換 ②高等学校との合同研修	・高等学校との意見交換 -2回以上 ・高等学校との合同研修 -1回以上
		(3)適切な入学者選抜試験の実施 ①入学者選抜の実施	①一般選抜における多面的・総合的評価の実施 ②総合型選抜における基礎学力の把握	入試実施状況	・定員充足率 100%
		(4)入学者選抜実施体制の構築	①アドミッション・オフィサーの配置と業務の明確化 ・入学者選抜に係る企画立案 ・多面的・総合的審査・評価に係る検証	①広報戦略 ②高等学校訪問 ③進学ガイダンス等	・ホームページ・ビュー 件数 ・高等学校訪問件数 ・進学ガイダンス参加件数
		(5)情報公開	①入学者選抜試験問題の公表 ②入学者選抜試験問題の妥当性の検証	①入試問題	・公表の実施
5	防災・危機管理の強化	(1) 防災及び危機管理体制の充実・強化 ①BCP の確保	①防災及び危機管理対応マニュアル等の整備。 ②防災訓練等の計画・実施・検証・マニュアル	・防災・危機管理マニュアル ・防災備品備蓄	・防災・危機管理マニュアル策定(令和4年度)

				重要業績評価指標 (KPI)	
項目	中期計画	行動目標	項目	指標	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大規模災害発生時の被害の最小化</li> <li>・教育研究機関としての事業継続</li> <li>・地元自治体との連携・協力</li> </ul> <p>②安全管理体制整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育研究環境を維持するための安全管理体制の整備</li> </ul>	<p>等の更新。(P D C A サイクルの運営)</p> <p>③防災用備蓄品等の点検・見直</p> <p>④キャンパス所在自治体, 周辺地域団体その他の機関等との協力体制の推進。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育研究環境を維持するための安全管理体制の整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保管する劇毒物の管理</li> <li>・避難・防災訓練の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災備品備蓄棚卸実績</li> <li>・劇毒物棚卸, 安全管理マニュアル作成(令和4年度)</li> <li>・防災訓練 2回以上</li> </ul>	
	<p>(2)危機管理における広報対応</p> <p>①事件・事故・不祥事の発生時の広報対応</p>	<p>①事件・事故・不祥事の発生時に, 各メディア等に対して的確な対応ができるよう, 全学的に危機管理広報の意識向上を図る。</p> <p>②危機管理体制の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・初動対応</li> <li>・的確な対応方法・知識の共有</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リスクマネジメント</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際学院版「危機管理広報」策定</li> </ul>	
	<p>(3)情報システムにおけるセキュリティ対策の強化</p> <p>①学内の情報資産の保護</p> <p>②サイバー攻撃への対策</p>	<p>①情報セキュリティポリシーに基づき, 学内の情報資産を様々な情報リスクから保護</p> <p>②サイバー攻撃への対策を強化し, 教職員への研修等, 総合的な対策を検討し実行する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報セキュリティポリシー</li> <li>・インシデント事例の共有</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報セキュリティポリシーの策定</li> <li>インシデント事例のデータ化</li> </ul>	
6	SDG s 基本原則の推進	<p>(1) G C 理念と整合した国際学院全体の基本理念の具体化</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①取組推進のための専担組織の整備</li> <li>・ G C 10 原則の確実な実施</li> <li>・ S D G s の目標達成に向けた本学院取組の具体化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ COE</li> <li>・ 学生生徒の意識変化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ COE 作成</li> <li>・ 学生生徒アンケート (行動変容の把握)</li> </ul>
		<p>(2) S D G s 17 目標達成に向けた本学院の取組の推進</p>	<p>①海外との教育連携, ユネスコスクール等における S D G s に向けた取組みの深化</p> <p>②卒業研究ゼミにおける目標実現に向けた取組の提示と実施</p> <p>③カリキュラムの見直し</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 卒業研究ゼミの取組</li> <li>・ 新たな発表への取組</li> <li>・ 多様な入学生受入</li> <li>・ 障がい者の入学</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ SDGs 発表の場創設</li> <li>・ 多様な入学生受入実績</li> <li>・ 障がい学生生徒相談窓口の設置</li> </ul>

	項目	中期計画	行動目標	重要業績評価指標 (KPI)	
				項目	指標
			<p>④多様な学びの場の提供          学ぶ意欲のあるすべての人を対象に学ぶ機会を提供する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障がい者、高齢者、L B G T等の受入れ促進</li> <li>・社会人のための学修環境整備</li> <li>・留学生の受入のための体制づくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業研究ゼミ</li> <li>・国際問題に係る主体的対応</li> <li>・社会人学生の受入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業研究ゼミの発表</li> <li>・学友会・生徒会による募金活動</li> <li>・社会人学生受入件数</li> </ul>
		(3)教育活動や地域貢献活動等における具体的展開の推進	<p>①地域における課題の発掘と解決への支援          食品ロス削減や環境改善、高齢社会への対応に向け、公開講座等の積極的な対応の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公開講座、出前講座等の推進</li> <li>・食育士の認定促進と行政との連携の確立</li> <li>・N P O等との連携強化</li> </ul> <p>②地域連携センターによる地域連携・地域貢献の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域連携・地域貢献の専担窓口として地域連携センターにおける地域連携・地域貢献活動を推進</li> <li>・学生の社会参加の促進</li> <li>・行政や産業界及び地域の各種団体をはじめとする地域社会全体との連携促進</li> <li>・県、市町村、産業界、N P O等産学官連携を推進し、地域活性化のための取組やベンチャー支援などの推進</li> <li>・社会人や高齢者の学び直しの視点からの公開講座、生涯学習講座など様々な地域貢献活動の取組の推進</li> </ul> <p>③情報公開の推進</p> <p>経営基盤の質保証、教育研究の質保証等を積極的に発信することがK Gブランドの確立につながるものであることから、情報公開を一層</p>	<p>①さいたま市との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公開講座</li> <li>・さいたま市及び大学コンソーシアムとの連携</li> </ul> <p>②産学官連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・埼玉経済同友会との連携</li> <li>・さいたま市と連携した SDGs の推進(資源循環推進課)</li> <li>・給水スポットの利活用</li> <li>・学生と企業等との意見交換</li> </ul> <p>・教育情報、財務情報の積極的な公開</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公開講座実施件数</li> <li>・公開講座参加者数</li> <li>・給水スポットの活用実績とSDGsへの寄与測定(数値化)</li> <li>・大学改革助言・評価委員会外部委員との意見交換実施 年1回以上</li> <li>・ホームページ・ビューのアカウント数</li> </ul>

				重要業績評価指標 (KPI)	
項目		中期計画	行動目標	項目	指標
			推進 ・教育情報、財務状況などの積極的な情報公開 ・SDGsの目標達成に向けた取り組み実践例の情報発信  ④グローバル化への対応 大学等の国際化に向けた取組の推進 ・大学等の国際化推進に関するビジョン・方針の策定 ・グローバル環境の整備 ・外国語による情報のホームページでの公表	・ユネスコスクール活動」推進の取組～ESD教育及びSDGs 17 目標達成に向けた取組の推進（中高）	・海外学校との交流実績
7	ガバナンス強化	(1)ガバナンス・コードの遵守 ①社会情勢に即応した高度で戦略的な法人運営の構築 ②信頼性・透明性の確保 ③情報公開体制の整備	①中等教育や高等教育を巡る情勢の幅広い理解に立ち、高度で戦略的な法人運営を構築する能力を強化する。 ②信頼性・透明性の確保 ③情報公開体制の整備 ・法令で定められた情報の公開 ・教育研究活動や経営に係る公開すべき情報について、公正かつ信頼性の高い情報を迅速かつ網羅的に発信 ・公開する情報へのアクセス方法や情報公開に関する基準等の整備	・ガバナンス・コードに基づく評価・検証・公表 ・ガバナンス・コードの見直し ・私立学校法改正の対応	・検証の実施 ・情報公開実績 ・私立学校法改正実績
		(2)コンプライアンスの徹底	①法人におけるコンプライアンスの基本的方針を整備し、役員、教職員の行動規範として徹底・推進する。 ②改正個人情報保護法による個人情報保護の強化と情報発信を推進する。	・コンプライアンス基本方針  ・本学院規程の整備と運用	・コンプライアンス基本方針策定  ・個人情報保護規程の全面改正

				重要業績評価指標 (KPI)	
項目	中期計画	行動目標	項目	指標	
	(3)法務業務体制の強化	①法務業務体制の強化 ・迅速かつ的確な法的根拠のもと業務に取り組むことができる環境を整備し強化する。	・理事・評議員・監事対象研修会の実施 * ガバナンス改革 * 関連法令改正	・理事・評議員・監事対象研修会の実施件数	
	(4)監事監査体制の整備	①監事監査の徹底 ②法人に損害を及ぼす恐れのある事象について総合的に対応できる監事監査体制の整備 ③会計監査人との連携	・監事監査体制 ・不正・不祥事の防止 ・公益通報 ・財務情報	・内部統制システム強化 ・期中監査強化実績 ・公認会計士との意見交換実績	
	(5)危機管理体制の整備	①新型コロナウイルスの発生など、予期せぬ事態により、一瞬にして事業の継続が困難になりかねない事例に備える危機管理体制の再整備	・事業継続計画 (BCP) の策定	・事業継続計画 (BCP) の策定 (令和4年度)	
8	入学者確保と財務の強化 (入学者の確保)	I 入学者確保 (1)実効性ある募集活動 ・入学者確保に向け、徹底した広報活動を進め、実効性ある募集活動を展開	①学生生徒確保に向けた組織体制の整備とPDCAによる課題整理、検討、改善 ②入試システムと関連広報活動の強化	①経常費補助金 ②運営費補助金 ③施設貸出	・経常費 1億円 (特別補助含む) ・運営費 3億円 ・施設貸出 1,500万円
		(2)オープンキャンパス戦略 ・高い出願率が見込めるオープンキャンパスの参加者を増大させるため、参加を促す効果的な広報を展開 ・必要な予算措置と効果検証	①保護者世代も対象にしたツイッター等を活用した戦略の展開 (双方コミュニケーション) ②参加者へのフォローアップ ③広報効果の検証	・オープンキャンパス参加者の増大	・オープンキャンパス実施状況 * 参加校数 * 参加者数 * リピート率 * 入学率
		(3)効果検証と見直し	①IRを活用した入学者分析 ②基礎学力の把握と初年次教育の見直し ③高等学校等の教員との意見交換 ④小学校、中学校、塾等との連携強化	・効果検証の実施	・運営協議会・校務運営会議への分析実績報告

			重要業績評価指標 (KPI)	
項目	中期計画	行動目標	項目	指標
(財務の強化)	<p>(4)入試・広報活動の推進</p> <p>①高校訪問、学内外説明会等を効果的に活用して、生徒、保護者、担当教員に対して、本学の教育実践の理解を深める機会を質・量ともに増加させ、資料請求者・受験者数の増加を目指す。さらに文部科学省の打ち出す大学入試改革を踏まえた対応策をとる。</p>	<p>①小・中・高校等の訪問、学内外説明会等を効果的に活用して、生徒、保護者、担当教員に対して、本学の教育実践の理解を深める機会を質・量ともに増加させ、資料請求者・受験者数の増加を目指す。</p> <p>②文部科学省の打ち出す大学入試改革を踏まえた対応策をとる。</p> <p>③SD を活用した SWOT 分析等による強みの徹底分析</p> <p>④広報戦略ツールの見直し</p>	<p>・効果的な高校訪問の実施</p> <p>・進学ガイダンスへの参加</p>	<p>・小学校、中学校、塾の訪問件数 (中高)</p> <p>・高等学校訪問件数</p> <p>・進学ガイダンス参加件数</p>
	<p>II 財務の強化</p> <p>(1)財務マネジメント</p> <p>・健全な財政構造維持のための財政計画策定と実行</p>	<p>①日本私立学校振興・共済事業団の経営指標における A2 ランクを確保するため、事業活動収支差額において持続的にプラスを確保する計画の策定・実行。</p> <p>②減価償却費相当分の確実な減価償却引当特定資産への組入の実行</p>	<p>・計画期間中における健全財務の維持・向上</p>	<p>・A2 ランク(日本私立学校振興・共済事業団の健全経営指標数値の確保)</p> <p>・目標とする管理指標</p> <p>* 経常収支差額比率 10%以上</p> <p>* 人件費率 45%未満</p> <p>* 自己資本比率 85%以上</p> <p>* 総負債比率 15%未満</p> <p>* 負債比率 17%未満</p>
	<p>(2)資産運用</p> <p>・確実な資金運用と長期借入金の借り換え等の管理を適切に実行</p> <p>・遊休資産の見直し・有効活用</p>	<p>①確実な資金運用の実施</p> <p>・長期資金運用状況の検証を行い、資産配分及びファンドの見直しを実施</p> <p>②借入金の適正管理</p> <p>・長期借入金利息の適正管理による、適時適切な借換や償還の実行</p>	<p>・長期資金運用状況</p> <p>・借入金償還管理</p>	<p>・長期資金運用実績</p> <p>・借入金償還計画実績</p>

	項目	中期計画	行動目標	重要業績評価指標 (KPI)	
				項目	指標
	(3)多様な収入の確保 ①外部資金の獲得 ・補助金制度の有効活用 ・受託事業 ②施設貸出	③遊休資産の現状及び将来の評価予測と見直し、有効活用等の取組推進  ①経常費(国)・運営費(県) 補助金 ・配分基準項目に係る配分割合の拡大 ・特別配分項目の獲得 ②コロナ禍における施設貸出基準及び方法の見直し	・遊休資産活用  ・国庫補助金確保 ・埼玉県補助金確保 ・施設貸出収入確保	・ランニングコース ・岩槻グラウンド  ・2,000万円(経常費以外) ・1,000万円(運営費以外) ・施設貸出収入2,000万円	
	(4)寄付金募集の促進 ・本学応援団の拡大 ・法人寄付の拡大	①教育振興資金・受配者指定寄付金の拡大 ・保護者との連携強化 ・きめ細かな寄付募集の周知 ②企業応援団の獲得・拡大 ・本学院の教育成果の発信強化	・教育振興資金・受配者指定寄付金の拡大	・教育振興資金・受配者指定寄付金 1,000万円 ・個人寄付 50口	
	(5)葵寮の在り方 ・現状における有効活用 ・中長期構想	①教育活動の支援 ②学生活動の支援 ③将来構想の策定	・教育研究所実施事業との連携 *セミナーハウスとしての利用促進 ・学生の課外活動支援 ・関係法令及び諸制度との調整	・教育研究目的の利用回数 ・課外活動目的の利用回数	
	(6)人事マネジメント ①多様な人材を活用した教育研究・社会貢献力の強化  ②働き方改革の推進 ・ワークライフバランスの実現 ・創造的働き方改革の実現	・様々な教育力、研究力、社会貢献力の発信 ・他大学や研究機関、民間企業との連携強化  ・働き方改革関連法に基づく法令遵守の観点から就業規則等を見直し、ワークライフバランスの充実を図る	・様々な教育力、研究力、社会貢献力の発信 ・他大学や研究機関、民間企業との連携強化  ・休暇制度 ・多様な働き方	・産学官連携プラットフォーム  ・時間単位休暇制度の実施(令和4年度)	

	項目	中期計画	行動目標	重要業績評価指標 (KPI)	
				項目	指標
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・女性活躍(男女共同参画)の推進</li> </ul> <p>③安全で快適な就労環境の実現</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ハラスメントの防止</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個々の事情に応じた多様で柔軟な働き方が選べる様々な環境整備</li> <li>・女性活躍に向けた環境整備</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ハラスメント事案を抑止するため、ハラスメント事案の学内公表</li> <li>・教職員向け研修会によるハラスメントの防止</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・女性活躍</li> <li>・ハラスメントの防止</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部委員における女性委員比率 50%以上</li> <li>・ハラスメント研修会 *実施回数 *参加率</li> </ul>
		<p>④業務の高度化への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・専任教職員育成システムの構築</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後大学教職員として求められる能力を検証し、新たな研修プログラムを構築</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門的能力の向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・FD・SD 参加 100% (年間計画の中で1回以上参加した割合)</li> </ul>
		<p>(7)施設設備整備計画の策定</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中期計画期間における具体的な「施設設備整備計画」の立案</li> <li>・施設設備の長寿命化と予防保全</li> <li>・毎年の見直しと各年度の事業予算化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画的施設整備計画</li> </ul> <p>※大宮キャンパスにおいては、再開発計画との調整</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館機能強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(伊奈キャンパス)</li> <li>・3号館</li> <li>・グラウンド・サッカー場整備</li> </ul> <p>(大宮キャンパス)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・空調設備更新</li> <li>・LED化</li> <li>・ラーニング・コモンズの設置</li> </ul>
		<p>(8)環境・省エネ対策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地球環境の保全と温室効果ガス対策</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「省エネ」、「脱炭素エネルギーの利用拡大」を国や自治体の取り組みを踏まえて推進し、温室効果ガスの発生量を削減するための目標値を設定し発生量を削減</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SDGsとしての取組強化</li> <li>・目標値の設定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・廃棄物資源化率 50% (令和3年度 35%)</li> </ul>
		<p>(9)施設管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設管理の高度化(品質、安全と環境、コ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設設備を計画的に高度に管理するため、施設管理業務の仕様を明確にし、仕様に見合った</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設管理に係る業務委託仕様書の見直し</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間の施設管理契約における安全と環境の高度化達</li> </ul>

	項目	中期計画	行動目標	重要業績評価指標 (KPI)	
				項目	指標
		スト) への対応	適切な価格で安全と環境に配慮した管理業務を委託		成実績
9	地域連携・リカレント強化	(1)地域社会の課題解決へ向けた貢献活動の推進 ・地域との連携を強化し、地域社会のニーズに即した地域貢献の推進	①地域との連携を強化し、地域社会のニーズに即した地域貢献の推進 ・本学院の持つリソースを生かし、地域住民の健康向上を目指した地域貢献事業の展開。	・地域と連携した事業展開	・地域貢献事業件数
		(2)本学の施設を活用した地域との交流 ・地域の危機管理支援	①大規模災害等、地域の危機管理や安全・安心な社会づくりに貢献 ・地域における防災拠点としての役割の形成	・災害対策関連情報の発信	・災害食公開講座参加者数
		(3)地域に向けた知の発信	①産学官連携 ・地域の食材を活用した商品化支援 ②産学官連携プラットフォームの形成 ・地域の自治体や地域企業等との協働 ・成果を地域企業還元・利活用  ・受託研究や共同研究を活性化と研究成果による地域貢献 ・産学官連携による食に関する起業支援	・包括協定企業（パレスホテル大宮） ・産学官連携プラットフォーム  ・受託・共同研究の推進	・企業連携による新たな商品開発 ・産学官連携プラットフォームの創設（タイプ3）  ・受託研究の実現 ・共同研究件数 5件
		(4)リカレント支援	①生涯学習支援 ・ニューノーマル社会における公開講座の提示 ・本学のリソース(教育研究ノウハウ・人的資源)の活用 ②SDGs(誰一人取り残さない)の視点からのリカレント支援 ・生活の自立を目指し資格取得を志す地域住民の支援を推進	・障がい者支援に係る公開講座 ・委託訓練の実施	・障がい者支援に係る公開講座の実施 ・委託訓練修了者（資格取得者） * 卒業後3か月までの就職率 100% * 就職後6か月までの定着率 100%

	項目	中期計画	行動目標	重要業績評価指標 (KPI)	
				項目	指標
10	教育の質向上プロジェクトの推進(中学校高等学校)	教育の質向上プロジェクトの推進(中学校高等学校) (1)「英語の国際学院」推進	①「英語の国際学院」推進のための取組推進  ・4技能を鍛える授業 ・英語検定・GTECで目標設定 ・統合型言語活動の推進 ・スピーチ、プレゼンテーション、ディベート、ディスカッション ・海外研修・語学研修の推進 ・留学生の受入(アメリカ、オーストラリア、ドイツなど) ・実践英会話能力開発(英会話授業) ・ALTによる少人数英会話レッスン ・予備校講師による受験対策	・朝講習などで対応  ・2級合格のために補講  ・コロナ禍の制限に鑑み、実施を検討  ・各取組を継続して実施	英検2級合格者10名 GTEC960点10名
		(2)「KOKUSAI Method」推進	①「KOKUSAI Method」取組推進 ・基礎学力の徹底錬成 ・ドリル型小テストの実施 ・目的別講習、補習の実施 ・全国模試の実施 ・校内英語検定実施 ・GTEC実施 ・中高大連携(上智大学短期大学部)	・大学進学率 ・国公立・最難関私大合格者数 ・難関大学合格者数 ・有名大学合格者数	75% 5名 15名 45名
		(3)「教育力向上」推進	①「教育力向上」の取組推進 ・建学の精神の体現 ・授業アンケートの実施と活用 ・研究授業と公開授業の実施	・実施済みの事項は取組強化  ・未実施の事項は実施に向けた	教育力向上の数値目標策定

				重要業績評価指標 (KPI)	
項目	中期計画	行動目標			
			項目	指標	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒指導研究の実施</li> <li>・教育相談研修の実施</li> <li>・PBL（卒業研究）の改善</li> <li>・中高大連携（国際学院埼玉短期大学）</li> <li>・オンライン授業の検証</li> </ul>	取組	共通テスト対策の実施	
	(4)「ユネスコスクール活動」推進	①「ユネスコスクール活動」推進の取組～E S D教育及びS D G s 17 目標達成に向けた取組の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>・国際交流と国際理解の深化</li> <li>・海外校招致</li> <li>・生徒海外派遣と国際会合へ参加</li> <li>・海外教育提携校との連携</li> <li>・ユネスコ募金活動（さいたまユネスコ）</li> <li>・服のチカラプロジェクト（ユニクロ）</li> <li>・異文化学習会（埼玉県国際交流協会）</li> <li>・異文化研修（JICA 地球広場）</li> <li>・デンマーク、ドイツ、イタリア、マレーシア、インドネシア、インド、シンガポール、香港、台湾と交流</li> </ul>	①「ユネスコスクール活動」推進の取組～E S D教育及びS D G s 17 目標達成に向けた取組の推進	国際理解活動 10 回  国際理解活動の深化 海外校招致 生徒海外派遣と国際会合へ参加 海外教育提携校との連携 ユネスコ募金活動（さいたまユネスコ）	
11	ナレッジ・ビレッジ構想の推進	(1) 都市再生におけるイノベーション創出に向けたナレッジ・ビレッジ構想の推進	①大宮キャンパスの再整備推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャンパス再開発計画の推進</li> <li>・資金計画の策定</li> <li>・さいたま市との連携</li> <li>・近隣調整</li> </ul>	
		(2) ナレッジ・ビレッジ創出に向けた産学官連携の推進	①ナレッジ・ビレッジ創出に向けた産学官連携の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生の学の集大成としての交流の場づくり</li> <li>・大学のリソースをいかした</li> </ul>	
		・ナレッジ・ビレッジ構想の具体化に向けた産学官連携による取組を推進	・新たな地域整備機能のための産学官連携の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本構想策定（令和4年度）</li> <li>・基本計画の具体化</li> <li>・実施計画の推進</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・エリアマネジメント構想の具体化</li> </ul>	

	項目	中期計画	行動目標	重要業績評価指標 (KPI)	
				項目	指標
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・さいたま市の進めるまちづくりと整合した都市機能の抽出</li> <li>・本学院が行う地域貢献の推進</li> </ul>	地域支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の経済団体等との交流</li> </ul>	
		(3) 本学の特色を生かした教育の展開 <ul style="list-style-type: none"> <li>・短期大学設置学科の再編</li> <li>・大学の設置等</li> </ul>	①短期大学設置学科の再編、大学の設置等、本学の特色を生かした教育の展開 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ニーズに即した心材の輩出に向け、短期大学設置学科の見直しや大学への改組転換、特色ある教育の展開</li> <li>・短期大学設置学科の再編</li> <li>・新たな大学の創設</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・構想の再整理</li> <li>・実施に向けた要件の確認</li> <li>・大宮キャンパス再開発構想との整合</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門職大学の実現</li> <li>・短期大学設置学科の再編</li> </ul>
12	新たな課題への対応	(1)学院創立 60 周年への対応	①60 年の教育活動の整理・総括 ②再開発構想等の発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>・組織体制</li> <li>・情報発信（基本構想）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和 4 年度の組織化</li> <li>・基本構想の作成(令和 4 年度)</li> </ul>
		(2)新型コロナ対策	①予測不能な事態への対応 ②教育環境整備 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT 環境の整備</li> <li>・修学継続に向けた支援の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「教育を止めない」から、「教育を進展」へ</li> <li>・国庫補助金の活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラスター発生ゼロ</li> </ul>